

令和 7 年度

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カンガルー療育支援室 世田谷ステーション					
○保護者評価実施期間	令和7年11月17日～令和8年1月31日					
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童発達支援 放課後デイサービス	4名 20名	(回答者数)	児童発達支援 放課後デイサービス	3名 13名
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日～令和8年1月31日					
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名		(回答者数)	12名	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月4日					

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員全体がお子様の状態を把握できている。	朝の打ち合わせ後に、送迎に出る職員以外全員で前日のお子様お一人おひとりのご様子を話し、業務日誌に反映している。	長期休暇中以外は、情報共有できる時間を確保できているが、長期休暇中(特に夏休み)は、共有時間の確保が難しいこともある。職員増員をし、共有時間確保に努めたい。
2	日々の様子を連絡帳や面談で共有し、保護者様が安心できるような努めている。	保護者様からの意見や要望を聞き取り、支援計画に反映するよう意識している。 体調変化等があった場合は、すぐに電話やメールで連絡する体制を整えている。	現在は連絡帳や面談を通じて保護者様の安心につなげているが、今後はICTの活用や保護者交流の場の拡充などにより、情報共有と家族支援の充実を図る必要がある。
3	お子様が落ち着いて過ごせる空間や、事故防止のための工夫がされている	静かな空間を確保し、照明や音量を調整して過ごしやすい雰囲気を作っている。 支援中は常に言葉かけや見守りを行い、安心感を与えるよう意識している。	防音や温度調整を強化し、スヌーズレン環境を安心できる場として提供する。 安全管理や危機対応に関する研修を定期的実施し、意識を高める。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援や兄弟姉妹向けのイベント、保育所、放課後児童クラブ・児童館との交流が十分に行えていないこと。	これまでお子様や保護者様からのご要望を十分に伺う機会がなく、そのため各種取り組みを実施できていない。	保護者会や交流イベントの開催についてご要望があるかどうかを面談時のアンケートで確認し、改善に向けて必要な取組や工夫を進めていく。
2	平日のみの開所であり、土曜、祝日に利用希望がある家庭のニーズに十分応えられていない。	人員確保の難しさ。	保護者アンケートや利用希望調査を行い、具体的なニーズを把握していく。
3	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が十分に提供されていない。	保護者様からの要望やニーズを十分に把握できていない。	アンケートや面談を通じて保護者様のニーズを定期的に把握する仕組みを導入する。